

令和1（2019）年10月18日

小野市議会議長 川名善三様

議会運営委員会
前田光教 ㊞

行政視察報告書

先般、実施しました議会運営委員会行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日

令和1（2019）年10月3日（木）～令和1（2019）年10月4日（金）

2 視察メンバー

前田光教（委員長） 山本悟朗（副委員長） 村本洋子 高坂純子
岡嶋正昭 久後淳司 川名善三（議長）



3 視察先

- （1）愛知県安城市 「議会ICT化推進事業について」
- （2）愛知県犬山市 「議会改革と市民フリースピーチ制度について」

4-1 調査結果 **第1日目 愛知県安城市 議会ICT化推進事業について**

●愛知県安城市

人口 189,331人 75,444世帯（平成31年4月1日現在）
面積 86.05km² 人口密度 2,200.24人/km²
議員定数 28名（条例定数） 現状28名（令和1年5月13日時点）
年少人口比率15.1% 老年人口比率20.6% 財政力指数1.28
実質公債比率1.0% 将来負担比率－%

●安城市議会 I C T 化の目的

1. 議会運営の効率化・迅速化

- ペーパーレスの推進
- コピー、製本、差し替えなど事務作業の軽減、業務スピードの向上

2. 議会の見える化・魅せる化

- 議会のライブ中継、S N S (facebook, twitter) の活用等議会情報の積極的公開
- 議場の I C T 化など分かり易い議会運営および議会の魅せる化
- 大型スクリーン導入、説明資料および持ち込み資料の電子化

3. 危機管理体制の強化

- 災害情報の共有化および情報伝達の迅速化
- 議会 B C P 整備

4. 議会の活性化議員の資質向上

- 情報伝達の迅速化、議会スケジュールおよび情報共有による事務作業の確実性の向上、エビデンス性の確保
- 情報ソースの拡大、市民への迅速な情報開示

●議会 I C T 化推進の主な効果

1. 定量効果

- 業務プロセス改革による事務作業の効率化・迅速化
(特に人件費ペーパーレスで事務スピード改善)
- 市民からの相談、陳情・請願件数

2. 定性効果

- 市民からの議会運営の満足度、信頼度、議員活動のしやすさ
- 市民と繋がる！議会・議員の見える化！活性化！（ユビキタス、オンデマンド、モバイル）

● I C T 化推進の状況

- ペーパーレス効果（平成 30 年度 70.4%削減）
- 費用効果（平成 29 年度実績 222 万円削減・人件費＋印刷製本費＋F A X 等）
- 予定管理・会議システム等 9 割程度の議員が利用（評価）

●安城市議会 I C T 推進基本計画（平成 27 年～30 年を経て平成 30 年～令和 4 年）

議会 I C T 推進プロジェクトチームが中心となって作成し、平成 27 年 11 月 25 日に議会改革検討委員会で承認決定をした。さらなる I C T 化を具体的に推進するため、平成 31 年度より第 2 次安城市議会 I C T 推進基本計画に取り組んでいる。

【基本的な考え方】

計画の具現化にあたっては、市民へ最新の議会情報の提供と議会内情報の一元化を図り、議会及び議員活動の積極的情報発信と議会の合理化・効率化を推進すると共に、市民の意見などを積極的に取り入れることによって、「開かれた議会」を実現するものとしている。

以下の 4 点を基本事項としている。

| | |
|--------|---------------------------------|
| Active | : 効率化・活性化など議会改革を積極的に推進する。 |
| Next | : ICTを積極的に活用した新たな議会運営を行う。 |
| Join | : 議会への市民参加と関心の向上を図る。 |
| Open | : 議会情報を分かり易く市民に公開する。 → ANJO（安城） |

なお、実施に向けた検討を進めていくが、ICTの技術革新、社会動向及び議会運営の状況等を考慮して、実施の要否・時期を判断するものとしている。

【ICT化推進事業計画】

1. 市民との情報共有の推進

- (1) ウェブサイト見直しによる分かりやすい議会情報の公開
- (2) 本会議及び全員協議会のインターネットLIVE中継枠の拡大
- (3) 委員会などのインターネットLIVE中継
- (4) 議会トピックス映像の公開
- (5) 音声議会だよりの公開
- (6) 議会だより編集委員会との連携

2. 市民参加による議会運営

- (1) インターネットによる議会アンケートの実施
- (2) 電子メールによる議会への市民要望・意見の受付
- (3) 議場コンサートのLIVE、録画中継
- (4) みらい夢中学生議会のLIVE、録画中継（高校生などへの対象拡大）

3. 議会のペーパーレス化推進

- (1) 市執行部とのペーパーレス環境の共有化
- (2) 議会決裁書類の電子化
- (3) 電子決算書、予算書の利用率向上
- (4) 一般質問、代表質問などタブレット利用率向上

4. 議員の情報活用能力の向上

- (1) 議会図書室のハイブリッド化
- (2) タブレットでの資料作成（オフィスソフトの利用）
- (3) 議員のICTリテラシー向上

5. 議会のICT環境の整備

- (1) クラウドディスクの導入利用
- (2) 次期タブレット端末の研究評価
- (3) 委員会室への固定カメラ等の設置
- (4) 電子会議システムとグループウェアの統合検討
- (5) 議会へのAI、RPA導入可能性の研究
- (6) テレビ会議システムの研究・試行

6. 危機管理体制の強化

- (1) 被災現場等の迅速な情報収集・提供
- (2) 議会BCP（業務継続性計画）の策定

●導入費用等

1. 初期投資 導入費用（ランニングコスト）

| | | |
|----------------|------------|--------------|
| グループウェア | 285,000円 | 183,000円/年 |
| 会議システム | 173,000円 | 972,000円/年 |
| タブレット利用料 | - | 1,780,000円/年 |
| 議場W i - f i 整備 | 3,100,000円 | 16,200円/月 |
| 本会議ライブ中継 | 729,000円 | 182,000円/年 |
| 他ネット回線料金 | 212,000円 | 9,200円/月 |
| その他備品等 | 100,000円 | |

2. データ定額3年3ヶ月のレンタルプラン導入 月額費用約4,500円（税込）

| | | | |
|-------------------------------|--------|----------------|---------|
| インターネット接続基本料 | 300円 | データ定額パック（7GB） | 3,000円 |
| 端末レンタル料（128GB） | 3,580円 | ユニバーサルサービス料 | 2円 |
| 保守パック | 300円 | レンタル割引額（128GB） | -3,020円 |
| 公費2,500円 + 政務活動費2,000円（私費負担無） | | | |

●議会ICT化推進における考察

- 議員主導でのICT推進！（若手議員による推進とベテラン議員の理解）
- ICTが苦手な議員をターゲットにした推進体制
- ペーパーレス会議だけにフォーカスせずにICT化のメリットを全体的に検討
- 無理に紙資料を電子化データに完全移行しない！
- 議会毎に議員主体で操作講習会を実施し全議員のスキルを底上げ
- タブレットを議場以外の議員活動でも利用できる環境を整備

5-1 所感

ICT化について肯定はしても否定するものでなく、必要な時代に必要な措置を講ずるものと考えますが、今回の視察においては議会内での情報を共有し、市民の方々との意見交換等におけるICTの活用が大いなる進化として感じられた。

今回の視察において、下記の3点を感じられた。

1. ICT化のメリットとして考えられる内容について

- ペーパーレス化による経費削減と資源・環境等への対策
- 会議時、説明時等の利便性
- 情報共有と情報量（データ処理）
- GPS位置情報（安城市未使用）の活用による議員所在確認が可能（災害時等）
- 紙資料量減における机上整理
- 連絡や通信のスピード化

2. 現時点でのICT化のデメリットについて

- 初期投資が高額（公費として支出するに値するか？）
- 活用の実態（大半の議員が使用しているものの機器能力の何%？）

○機器・機能講習（使用するための講習会等の実施）

○機器管理

3. 議会が取り組むICTの可能性について

○電子会議の可能性

○各会議開催通知のデジタル化

○スピード化

以上の点から、現時点での取り組みとして妥当かどうかと思うところです。よって必要な時期が今なのか、それともまだなのか、正直その判断をすることは現時点では表明することはできないのが現在の考えであります。

しかし、個人の研究ツールとしてICT機器の活用に向けた取り組みは必要であると感じているところです。

4-2 調査結果 **第2日目 愛知県犬山市 議会改革とフリースピーチ制度について**

●愛知県犬山市

人口 74,007人 31,128世帯（平成31年3月末現在）
面積 74.90km² 人口密度 約 988.08人/km² 議員定数20名
年少人口比率12.6% 老年人口比率28.7% 財政力指数0.92
実質交際比率4.7% 将来負担比率9.5%

●犬山市議会の取り組み

議会改革推進委員会の設置 平成22年5月～

議会基本条例の制定・議会人事組織の改革（議長任期2年）平成23年10月

議会基本条例・政務活動費の検証 平成29年7月～

市民フリースピーチの開催 議員間討議の促進（実施）

女性議会の開催 市民との意見交換会 親子議場見学会 学生議会

オープンドアポリシー（議長室にて議会の市政懇談会）

●権限を最大限発揮できる議会になるための犬山市議会の考え方

「市民にとってより役立つ議会になるために次の3点が不可欠」

1. 市民参加

市民のニーズや希望を反映できるように、意見を吸い上げる場を増やす必要がある。

2. 議員間討議

議員同士で議論しないと議会として物事を決められない。

3. 議会の政策立案・政策提言力の向上

議員間討議は提案につながらないと、ただのトークショーである。

●市民フリースピーチの取り組み

1. 目的

市民の直接参加により市政への関心を高め、議会や議場に親しみ、議会活動を市政に市民の意見をより反映させるものにする。

2. 内容

定例会開催期間に、市民が議場で議員に対し、市政に関して5分間自由に発言する。市民からの意見は全員協議会で議員間討議を行い、必要に応じて執行機関に申し入れるなどのアクションをとる。(協議結果はHPで公開)

3. 参加状況

| | | | | | |
|------|-------|--------|------|-------|--------|
| 第1回目 | 発言者7名 | 傍聴者37名 | 第2回目 | 発言者6名 | 傍聴者45名 |
| 第3回目 | 発言者7名 | 傍聴者45名 | 第4回目 | 発言者6名 | 傍聴者61名 |

4. 特徴

・議会行事 ・参加しやすい時間帯 ・年齢制限無 ・発言者に内容確認も可

●犬山市議会市民フリースピーチ（5分間発言）制度の概要

犬山市議会では、市民が議会で発言する機会を確保することにより、市民の議会への関心を高め、市民により身近で開かれた議会の実現に努めることを目的として、平成30年9月定例会で市民フリースピーチ制度を実施。議会は市民からいただいた意見を全員協議会などの議論の中で熟慮し、適切なアクションをとる。

1. 市民フリースピーチ（5分間発言）制度の概要

| | |
|--------|----------------------------|
| 実施回数 | 1回（会期内） |
| 実施場所 | 議場 |
| 発言参加者 | 犬山市内に在住・在勤または在学する方 |
| 発言内容 | 犬山市政に関すること（国・県・他市町村等の内容不可） |
| 発言時間 | 1人5分以内 |
| 発言者数 | 7名（抽選決定・発言内容により不許可） |
| 発言への対応 | 質疑応答無 |
| その他 | 報道機関に対し発言の撮影を許可する場合有 |

2. 申し込みの注意事項

○申し込み方法・期限

→ 定例会開会前の全員協議会（開会日の概ね1週間前）開催日の3日前（土曜日、日曜日、祝日を除く）午後5時までに（必着）、市民フリースピーチ（5分間発言）申込書を議会事務局に持参・メール・ファックス・郵送のいずれかの方法で提出

○発言項目・内容

→ 応募は1人1件、1つの発言項目に限定（複数の応募は無効）
→ 応募後の発言項目・発言内容の変更は不可
→ 記入の不備により応募が無効になる場合有

○発言者の決定

- 申込みの発言項目・発言内容により決定
- 応募者多数の場合は抽選により発言者を決定。

○その他

- 発言に際しパソコンなど機器の使用は不可。
- 発言に関する資料の配布希望の場合は申込期限までに1部提出
後日発言の可否と併せて資料の配布についての可否を連絡
- 応募の際の個人情報実施についての連絡に限り使用
- 報道機関に対してあらかじめ発言項目などの情報提供をする場合及び当日の
発言の撮影を許可する場合あり
- 発言の当日は議員・発言者・傍聴者等に対して発言者の氏名及び発言項目を記
載した資料を配布
- 手話通訳など配慮の必要がある場合は、発言予定日の7日前までに要申請
- 傍聴は議会傍聴規則に準ずる
- 発言者が発言終了後に議会を傍聴される場合も傍聴の手続き必要

3. 発言時の注意事項

申し込みいただいた発言項目・発言内容により発言決定（発言項目の変更不可）

発言者の禁止行為

- (1) 個人のプライバシーに関することや中傷的な発言
- (2) 大声で叫ぶ・脅迫的・罵倒するような発言
- (3) 会議の秩序ある運営を乱すようなその他の言動
- (4) 決められた発言時間の超過

発言者が上記に掲げる行動をしたときは、議長がその行動を制止し、又は退場させる場合があります。なお、退場させられた発言者は、その後、次の市議会議員選挙による議員の改選まで市民フリースピーチ制度に申し込みすることができません。

次のいずれかに該当する方は、議場に入ることができません。

- (1) 凶器その他危険物と認められるものを携帯している方
- (2) 酒気を帯びている方
- (3) 異様な服装をしている方
- (4) その他議事を妨害し又は人に迷惑を及ぼすと認められる方

議場の中では、議長より発言を許可された場合を除き、静粛を旨とし、次の事項を遵守してください。

- (1) みだりに席を離れないこと
- (2) 携帯電話その他音を発生する機器の電源を切ること
- (3) 飲食及び喫煙をしないこと
- (4) 議場における言論に対し拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと
- (5) 私語・談論・高笑い、その他騒ぎ立てないこと
- (6) 鉢巻き・腕章・たすき・ゼッケン等を着用し又は張り紙・旗・垂れ幕を掲げる等の示威的行為をしないこと
- (7) その他議場の秩序を乱し又は議事の妨害となる行為をしないこと

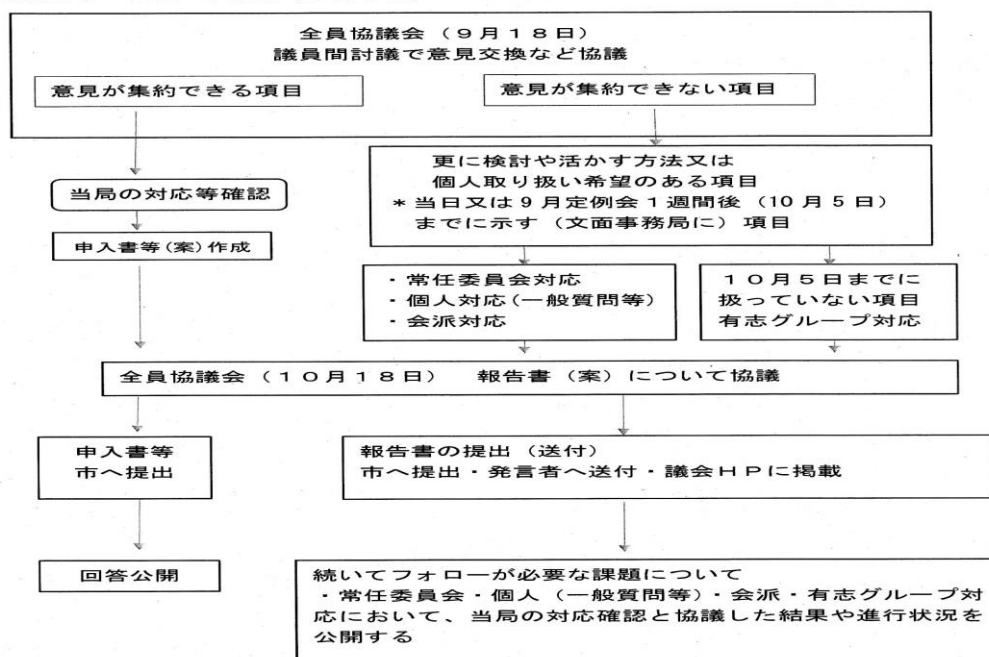
●議会改革と市民フリースピーチの取り組み効果

- 市民に「参加すれば実現できる」という気持ちが芽生え、市民参加が活発になった。
- 市民意識が高揚し、選挙投票率の低下や議員のなり手不足問題の解決糸口となる。

●市民フリースピーチ開催後の流れ

第3回市民フリースピーチ 開催後の流れ

市民フリースピーチ開催（9月9日）



5-2 所感

平成27年度に議会運営を課題に視察訪問させて頂いた犬山市議会に、今期改めて議会改革とフリースピーチ制度についてお伺いしました。平成27年度当時は素案段階でありましたが、今回は平成30年度に実施した状況に基づいての内容でありました。

フリースピーチ制度は、議決機関としては懇談会や意見交換会よりも課題抽出が可能であり、また、議会として取り組むことのできる課題を見いだせる機会としても感じられます。

小野市議会においては、今期より「議会と市民との懇談会」を定例会一般質問後に開催をしていますが、これもひとつの課題抽出方法であるものの、現時点では途中段階ではありますが、執行機関への直接質問・提言となっており、議員の一般質問から派生した内容や、深く掘り下げた市民の生の声を聴く機会には至っておらず、今後のPR等により議員も参加している懇談会となるよう模索することも必要であると感じています。

さて、これらを感じながら、小野市議会では「議会と市民の懇談会」をもっと充実させるためにも、一般質問は議員のスタンドプレーではなく、調査研究した議会の質問の場として改め、そこに市民の声を掛け合わせる必要があると感じています。議会と市民の懇談会が充実することによって、物心共に「ゆたかな小野の創造」につながるものと視察を実施して更に感じたところです。

令和元年10月7日

小野市議会議長 川名 善三 様

議会運営委員会 山本 悟朗 ㊞

委員会行政視察報告書

先般、実施しました常任委員会行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 令和元年10月3日(木)～4日(金)

2 視察メンバー

議会運営委員

前田 光教 村本 洋子 高坂 純子 岡嶋 正昭 久後 淳司
川名 善三 山本 悟朗

3 視察先及び調査内容

- (1) 愛知県安城市（人口：約18万9千人、面積：86.05K㎡）
議会ICT化推進事業について
- (2) 愛知県犬山市（人口：約7万4千人、面積：74.90K㎡）
議会改革について（市民フリースピーチ制度等）

4 調査結果

【第1日】

愛知県安城市

人口：約18万9千人、面積：86.05K㎡

議会ICT化推進事業について

≪視察項目≫

議会ICT化推進事業について

≪視察内容≫

議会ICT化推進事業について

ICT化の目的

- ① 議会運営の効率化、迅速化
事務作業の軽減 コピー、製本、差し替えなど
- ② 議会の見える化、魅せる化
大型スクリーン導入。説明資料、持ち込み資料の電子化
- ③ 危機管理体制の強化
災害情報の共有化、情報伝達の迅速化。BCP(事業継続計画)の整備
- ④ 議会の活性化、議員の資質向上
情報共有による事務作業の確実性の向上。エビデンスの確保

導入にあたっての解決課題

ICTが苦手な議員でも使える環境を前提

利用規約の作成

庁舎外、普段の議員活動での使用を推奨。

議員活動と無関係な用途に用いることは禁止。

タブレット端末の管理は、インストールするソフトを含め議員の自己責任。

全議員共通導入したソフトウェアとそれに要するコスト

| 項目 | イニシャルコスト | ランニングコスト |
|-------------|-------------|-------------|
| グループウェア | 285,000 円 | 183,000/年 |
| 会議システム | 173,000 円 | 972,000/年 |
| タブレット利用料 | | 54,000/1台/年 |
| 議場 Wi-Fi 整備 | 3,100,000 円 | 194,400/年 |

導入の状況

無理に紙資料を電子化データに完全移行しない。

希望する議員には紙媒体の資料を用意する。

議場以外の議員活動で利用できる環境の整備に努め、ICT化の便利さの体現が進んでいる。

導入の効果

下の各グラで表されるように、議員の利用状況は年々進んでおり。共有されたデータを議員が、常に持ち歩くことにより、議員として市民からの質問・要望に対して適切な対応が進んでいる。

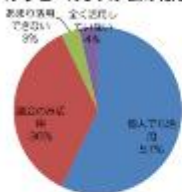
ペーパーレス等議会ICT化の効果



議会ICT化に対する議員の状況

(平成28年8月29日・30日実施)

【電子スケジュールシステムの利用状況】



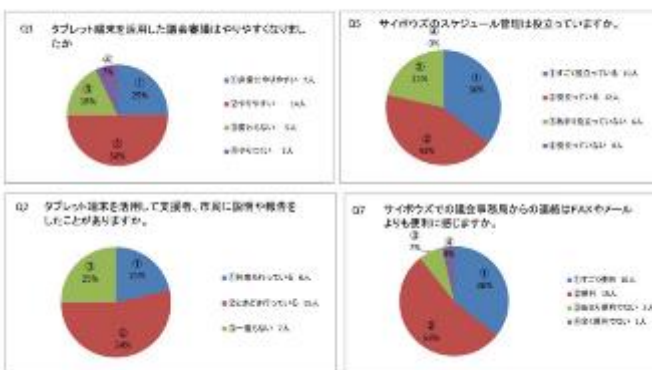
【ペーパーレス会議システムの利用状況】



【行政担当でのタブレットの利用状況】



議会ICT化に対する議員の状況



《所感》

タブレットの導入については、安城市議会が導入されている電子会議システム SideBook のプレゼン研修を7月31日に受講しており、その折から実効性の高さを認識していましたが、既に実用化されている議会の様子を伺い、早期に導入を進めるべきと考えます。

いつでもどこでも、議員全員が議会の情報を持ち歩けることは、市民の皆様と議会・議員をより身近なものとする事ができると考えます。

【第2日】

愛知県犬山市

人口：約7万4千人、面積：74.90K㎡

議会改革について（市民フリースピーチ制度等）

〈視察内容〉

議会改革について

概要

目的と意義

議会の権限を最大限発揮するためには

- ① 市民参加を促進し
意見を吸い上げる場の整備
- ② 議員間討議を活発におこない
議会として物事を決めるには議員同士の議論が必要不可欠
- ③ 政策の立案、提言力を高めることが必要

具現化の方法

- ① 市民参加を促進
市民フリースピーチ 女性議会 オープンドアポリシー
意見交換会 親子議場見学会
- ② 議員間討議を活発におこなう
全員協議会の開催 毎月1回以上の開催
- ③ 政策の立案、提言力を高めることが必要
議会決議、付帯決議の立案と実施。 申し入れ

特色ある取組の詳細

①市民フリースピーチ

目的 市民の直接参加により、市政への関心を高める。

議会や議場に親しんでいただく。

市民の意見をより反映させた議会活動をおこなう。

内容 定例会開催期間に、市民が議場で議員に対して、市政について5分間、自由に発言ができる。

市民の発言時には当局は同席しない。

市民からの意見は全員協議会で議員間討議を行い、対応を決める。

発言された市民に対して議会の対応を報告する。

市民のスピーチ、議員協議の内容を文書・ネットで公開

②オープンドアポリシー

内容 議会会期中以外の毎週水曜日の午後、「議会の市政相談」として議長室で市民の方からの来訪を待ち、ご意見を伺う。

③全員協議会での議員間討議

内容 ①市民フリースピーチでなされた提案について討議を行い、対応を進める。

対応の種類としては

議会全体として申し入れ等の対応をする。

常任委員会で対応を進める。

特定の議員が調査・研究を進め、次回以降の本会議で一般質問するなど

②本会議に上程された議案について、常任委員会開催前に討議する。

議案に対する議員全員の理解を深め、議論を深化させる。

常任委員会での討議が活発になる。

③答弁が納得出来ない一般質問の項目について討議する。

答弁の内容が、議員個人又は会派として納得出来ない場合、他の議員と討議する事で議論を深化させる。

賛同、反対の意見集約により、議会として対応を進めることが可能になる。

〈所 感〉

昨年、今年の議会運営委員会の視察を通じて、議会改革については、「議会報告会」の場を設けて説明することから、意見を聞くことにトレンドがシフトしているように感じています。

犬山市議会の市民フリースピーチの取組は、議会改革の目的を上手に具現化されていて素晴らしい。

議員間討議については

昨年、菊川市で伺った「政策討論会」、今回犬山市で伺った「全員協議会の活用」はともに同じ方向を向いた取組で、両市議会共に効果が得られています。良い例を学ばせていただきました。

昨年の視察報告では、議員間討議について、

「実施はしていても効果が見られない議会のお話を度々伺う。

方法は様々、効果がなくては意味がない。

小野市議会でもどう取り組むかをより前向きに考えたい。」と書きました。

あれから一年が経過し、議員も改選されました。

本年度からは議員間討議を活発に進めていくことについて、議会運営委員会の場等において積極的に実施のための議論をしなければならないと考えています。

令和元年10月9日

小野市議会議長 川名善三様

議会運営委員会 村本 洋子 印

委員会行政視察報告書

先般、実施しました常任委員会行政視察について下記のとおり報告いたします。
記

1 視察実施日

2019年10月3日～10月4日

2 視察メンバー

前田光教・山本悟朗・村本洋子・久後淳司・高坂純子
岡嶋正昭・川名善三

3 視 察 先

愛知県 安城市 人口：約18万9千人、面積：86.05 km²
愛知県 犬山市 人口：約7万4千人、面積：74.90 km²

4 内 容

【安城市議会】

議会ICT化推進事業について
～市民と繋がる安城市議会～

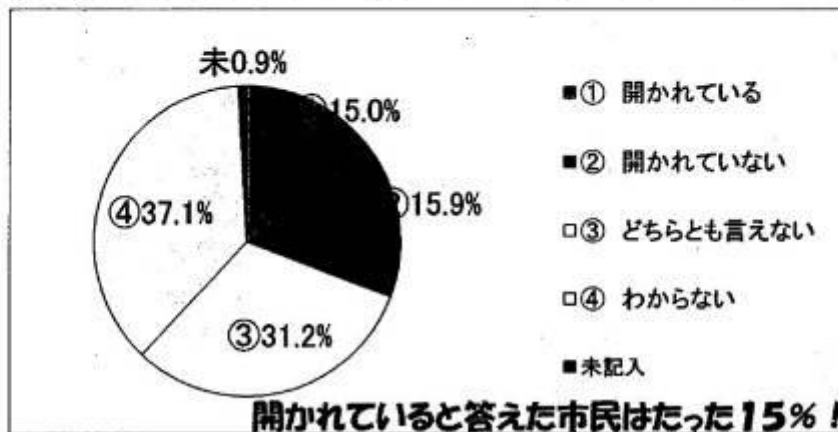
Smart 議会の高みを目指して！

平成22年7月 安城市議会における市民アンケートを実施、結果を公開。結果に基づき議会の見える化と議会改革を進めることを確認。

議会改革検討委員会において様々な議会改革の議論が本格的に始まった。

平成22年7月実施の 市民アンケート結果①

市議会は市民に対して開かれていると思いますか？

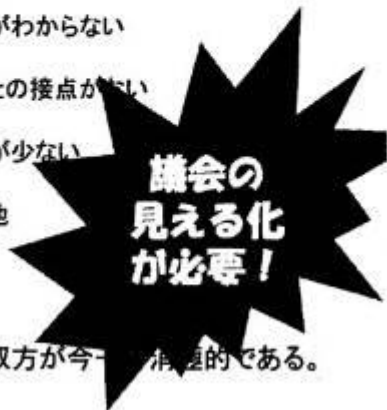


平成22年7月実施の 市民アンケート結果②

開かれていない、どちらとも言えないその理由は？



- ・議会情報がない、活動内容がわからない。
- ・市議会の具体的な動きが見えない。
- ⇒ 情報発信する市議会と受け取る市民の双方が今一歩消極的である。



議会・議員が市民と向き合う 議会の見える化がスタート

| 年 度 | 主な議会改革の内容 |
|--------|--|
| 平成23年度 | 6月：議会基本条例策定特別委員会の立ち上げ 議会の見える化として議会により編集委員会の立ち上げ、議員の編集による議会だよりを発行 市民の意見が割れている中心市街地拠点施設建設に関する検討プロジェクトを立ち上げ 9月：全議員参加による決算特別委員会を設置。各常任委員会で分科会を設置し分科付託 |
| 平成24年度 | 8月：中心市街地拠点施設建設に関し議会として請願書を作成し市長に提出 9月：各会派にノートPCを配布（3人に1台程度） 12月：中心市街地拠点施設建設に関する市民説明会を市執行部と共同で開催 |
| 平成25年度 | 4月：閉会中の酒粕製菓の実施（連続放火事件） 7月：（仮称）マナー条例制定プロジェクトチームを立ち上げ、ポイ捨てふん害、歩行喫煙の防止 などを議院議員提案での条例化を目指すことで一致 11月：神奈川県道子市議会にタブレット端末の導入について議会運営委員会で行政調査を実施 11月：議会報告会試行を実施 |
| 平成26年度 | 4月：ポイ捨てふん害、歩行喫煙などの市民アンケートを実施 6月：議会ICT化の議論が議会改革検討委員会で始まる 12月：安城市議会基本条例、安城市議会議員補選条例を制定 安城市さわやかマナーまちづくり条例を制定（議員提案による初の本格的政郡条例を制定） |
| 平成27年度 | 4月：議員定数を30名から28名へ2名削減で選挙を実施 5月：FAXを廃止し電子メールに移行 6月：議会ICT推進プロジェクトチームを立ち上げ、安城市議会のICT化について議論を開始 2月：全議員協議会より、タブレット端末を導入 |
| 平成28年度 | 4月：スマートフォン、タブレット端末への議会録画映像の配信 5月：議会のペーパーレス化を進める 8月：議場、委員会室等のWiFi化を実施 9月：インターネットライブ中継の実施 |

安城市議会ICT推進PT発足！

平成27年6月23日に第1回の会議を開催し、3月14日まで
計15回の会議を開催！（月に1～2回開催）

メンバー 6名（座長1名、副座長1名）

16人会派 → 2名選出、

3人会派 → 1名選出 × 3会派、

諸派(3人) → 1名選出



検討事項

目的

議会運営の効率化・迅速化

議会の見える化・魅せる化

危機管理体制の強化

議会の活性化・議員の資質向上

効果

定量効果

定性効果

主な ICT 推進 PT の実施・検討事項

- ① 現状調査 ICT化に対する議員の意識調査
- ② ICTベンダーへのヒアリング、近年の ICTトレンド調査
- ③ 市執行部との意見交換、推進体制の検討
- ④ システム構成、導入機器、費用の検討
- ⑤ 利用規約、費用負担など議会のルール作成
- ⑥ 議員の操作、リテラシー教育

企画課・経営管理課・情報システム課を交えて、様々な提案をしてきたが、市執行部からは前向きな回答はなく、議会単独での ICT化へシフト！

7分野 29項目の ICT化事業を4年間で実施。

ペーパーレス会議、電子スケジュール、掲示板、議会のライブ中継、SNS活用・ホームページリニューアル、議会情報オープンデータ化、議会 BCP など

まずは議案書、議案説明書をターゲットにペーパーレスを実施。

システム構成、導入機器、費用などの検討

操作性を重視して SideBooks に決定。

操作が簡単で操作の標準化がしやすい iPadPro を選択。

契約形態はレンタル

ICT 利用規約などのルール化

タブレット端末を持ち出して議員活動を行うことが前提

議会・庁舎内だけでなく行政調査、普段の議員活動で利用。

必要最低限の約束事を取り決め

議員活動と無関係な用途に用いることは禁止

議会中に録音、録画、音を出す、外部とのやり取りは禁止

市民への説明は自己責任

議会 ICT 化・タブレット運用開始

平成 28 年 1 月 電子スケジュール・掲示板の運用開始

平成 28 年 2 月 全員協議会でペーパーレス会議

議会の混乱、タブレットに不慣れな議員への配慮で計画では1年間、紙と電子の併用とし

ていたが、3月定例会後、議案書などの紙は不要との声。

平成28年5月臨時会 希望を募り、議員9人に紙を配布

平成28年6月定例会 全員タブレットを活用

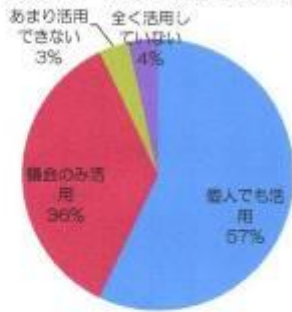
定例会前に毎回全議員対象にタブレット利用講習会を開催

費用対効果の算出結果：222万円/年削減（平成29年度実績）

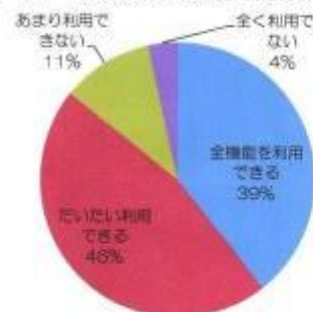
議会ICT化に対する議員の状況

（平成28年8月29日・30日実施）

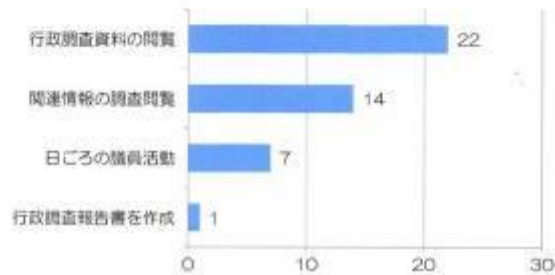
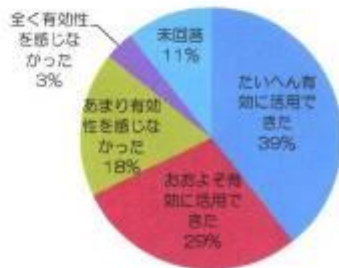
【電子スケジュールシステムの利用状況】



【ペーパーレス会議システムの利用状況】



【行政調査でのタブレットの利用状況】



議会ホームページのリニューアル

議会の情報公開徹底！迅速な情報開示

アンケート、問い合わせフォームで市民の声の吸い上げ、SNS等で議会活動状況を積極的に公開

議会のイメージ向上、キャッチコピー、PR動画、堅いイメージの刷新

見易さ、分かり易さ、操作性にこだわったホームページレイアウト

小中学生にも議会・政治に興味を持ってもらい、政治の大切さ、選挙権を持った時に政治参加の動機付け

リニューアル後、アクセス実績は約2.2倍に増加！

タブレットを活用した電子採決システムの導入

議会の魅せる化・議会発信のシティプロモーション

分かり易い議会運営とよりリアルタイムな情報発信

議会事務局の事務作業低減

電子採決システム導入コストの低減

今後の課題

ペーパーレス会議システムの使い勝手の向上

手書き入力などの改善

編集画面と閲覧画面の切り替えの簡易化

利便性とペーパーレス化のバランスの迫及

あくまでも議会の効率化、迅速化、議員活動の充実が狙い

定期的なフォローアップ講習の実施

タブレットの基本操作、便利な機能紹介、活動に役立つソフト紹介など



5 所 感

安城市議会の視察に行かせていただき、ICT化のメリットがわかりました。ペーパーレス化自体が目的ではなく、様々な議員活動の中で活用していることや、視察や研修で県外やどこにいても情報が得られることも、良いことだと思います。また、ICTが苦手な議員に寄り添い、議員同志で教え合う風土があることも素晴らしいと思いました。小野市でもICT化を推進していきたいと思いました。

安城市議会のホームページもとても参考になりました。小野市議会のホームページも堅いイメージが刷新できるものにしていきたいと思いました。

【犬山市議会】

議会改革について（市民フリースピーチ制度等）

平成30年3月定例会より新しく始めた制度、日本初、市民が議場で全議員に発言出来る。

平成30年に4回開催

【内容】市民が議場で、犬山市政に関する発言を5分以内で議員（議会）に対し行う。発言内容について、言いつばなしではなく、議会として対応する。全員協議会などの議論の中で熟慮し、適切なアクションをとる。さらに市民の議会への関心と期待を高め、市民により身近で開かれた議会の実現に努める。

【開催時期】会期中に行う。3月、6月定例会の開会日の夕方6時半から開催。また、9月定例会では、日曜日10時に開催。

【発言者】市内在住・在勤・在学なら誰でも可能。1回に7名を定員。

4回で合計26名が発言した。

発言者の禁止事項

- (1) 個人のプライバシーに関することや中傷的な発言
- (2) 大声で叫んだり、脅迫的、又は罵倒するような発言
- (3) 会議の秩序ある運営を乱すようなその他の言動
- (4) 決められた発言時間の超過
- (5) 上記に掲げる行動をしたときは、議長がその行動を制止し、又は退場させる場合がある

【発言後】全員協議会で、対応を協議する。

申込書等市へ提出。

協議した結果を発言者に連絡する。

議会HPに掲載。

フォローが必要な課題について、常任委員会・個人(一般質問)・会派・有志グループ対応において、当局の対応確認と協議した結果や進行状況を公開する。

【成果】第2回フリースピーチ開催後、市へ申し入れ等を行った。

5 所 感

犬山市の市民フリースピーチは、事前の周到な準備や責任ある発言となっています。議員がチーム議会として発言を真摯に受け取り、町づくりに生かしていることに感動しました。小野市議会も今年度から議会の休憩時間に、市政や一般質問に対しての傍聴に来られた方からの質問を伺っております。市民フリースピーチのように発展できればと思いました。また、全員協議会を定例会会期中に開催し、一般質問及び議案の内容等協議する議員間討議を行って、意見を集約し、提案へと繋がっていることも、ぜひ小野市議会でも行いたいと思いました。

犬山市議会は視察受け入れの際、委員会や担当の議員が説明もしているとお聞きし、議員のスキルも高いと思いました。私も小野市のことや、他の市のことも、もっと勉強して、スキルアップしたいと思います。



令和元年 10 月 18 日

小野市議会議長 川名 善三 様

議会運営委員会

高坂純子



委員会行政視察報告書

先般、実施しました 議会運営委員会行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 令和元年 10 月 3 日（木）～令和元年 10 月 4 日（金）

2 視察メンバー

◎前田光教○山本悟朗・川名善三・久後淳司・岡嶋正昭・高坂純子・村本洋子

3 視察先及び調査内容

- (1) 愛知県安城市（人口：約 18 万 9 千人、面積：86.05K m²）
議会 ICT 化推進事業について
- (2) 愛知家犬山市（人口：約 7 万 4 千人、面積：74.90K m²）
議会改革について（市民フリースピーチ制度等）



【第1日】

愛知県安城市

人口 189,331人 面積 86.05K㎡

《視察項目》

議会 ICT 化推進事業について

《視察内容》

※議会・議員が市民と向き合う議会の見える化スタート

平成22年市民アンケート {市議会は市民に開かれているか} ⇒15%

| 年度 | 主な議会改革の内容 |
|------|--|
| 平成23 | 議会だより編集委員会の立ち上げ・全議員による決算特別委員会設置。各常任委員会で分科会を設置し分割付託 |
| 平成24 | 各会派にノートパソコンを配布 |
| 平成25 | 閉会中の通告制質疑の実施・議会報告会試行 |
| 平成26 | 議員提案による「安城市さわやかマナーまちづくり条例」を制定 |
| 平成27 | 議会 ICT 推進プロジェクトチームの立ち上げ・全議員協議会よりタブレット導入 |
| 平成28 | スマートフォン、タブレット端末への議会録画映像の配信・議会のペーパーレス化を進める・議場、委員会室等の Wi-Fi 化を実施・インターネットライブ中継の実施 |

◎平成27年6月23日安城市議会 ICT 推進プロジェクト発足
平成28年3月14日まで計15回の会議開催（メンバー6名）

論点

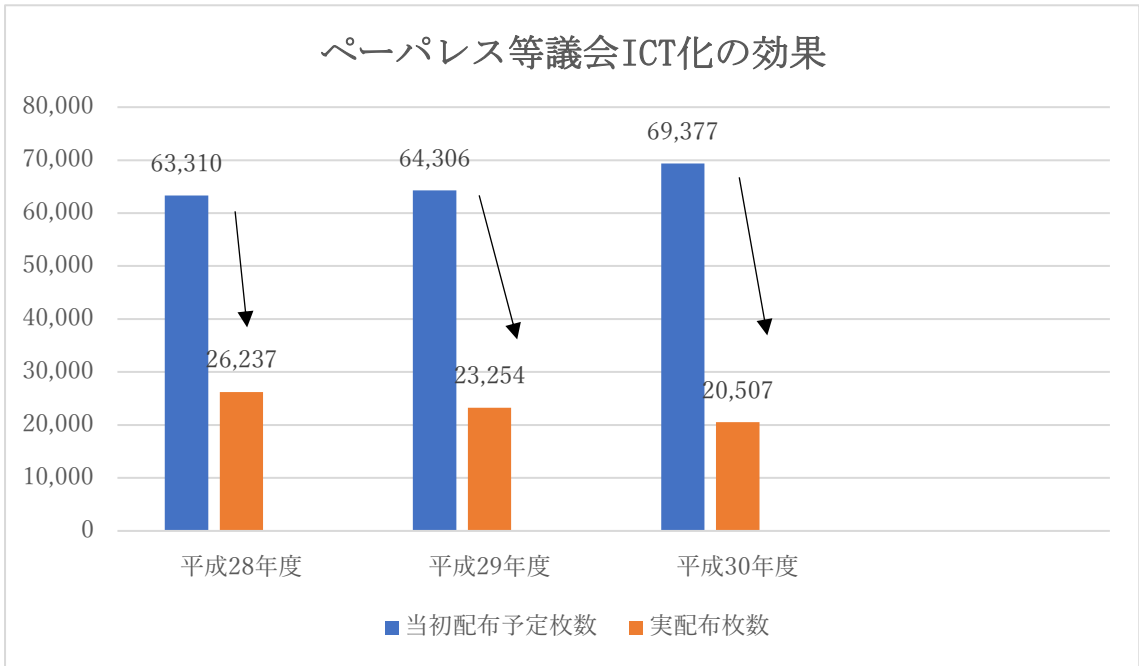
① 議会 ICT 化の目的 ② 議会 ICT 化推進の主な効果

実施・検討事項

- ① 現状調査（議員の意識調査）
- ② ICT ベンダーへのヒアリング、ICT トренд調査
- ③ 市執行部との意見交換、推進体制の検討
- ④ システム構成、導入機器、費用の検討
- ⑤ 利用規約、費用負担など議会のルールを作成
- ⑥ 議員への操作およびリテラシー教育

※議会単独で議会 ICT 推進基本計画を策定※

※定例会前に毎回全議員対象にタブレット利用講習会を開催※



費用対効果の算出結果：222万円/年 削減（平成29年度実績）
 ランニングコスト 313万円 システム利用料、タブレットレンタル費など
 効果金額 535万円 人件費、印刷製本費、FAX廃止など

議会ICT化に対する議員の活用状況（平成28年8月末）

| | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 個人でも57% | 議会のみ36% | あまりしない3% | 全くしない4% |
|---------|---------|----------|---------|

議会ホームページのリニューアル

議員個人別の賛否の公表、地元アマチュア俳優によるPR動画、キッズページリニューアル後、アクセス実績は約2.2倍に増加。

タブレットを活用した電子採決システムの導入

★今後の課題と対応について

- ① ペーパーレス会議システムの使い勝手の向上
- ② 利便性とペーパーレス化のバランスの追及
- ③ 定期的なフォローアップ講習の実施

☆議会ICT化推進における考察

- ・議員主導でのICT推進（若手議員による推進とベテラン議員の理解）
- ・ICTが苦手な議員をターゲットにした推進体制
- ・ペーパーレス会議だけにフォーカスせず、ICT化のメリットを全体的に検討する
- ・無理に紙資料を電子データに完全移行しない
- ・議会毎に議員主体で利用講習会を実施し全議員のスキルを底上げする（議員同士で教えあう風土）
- ・タブレットを議場以外の議員活動でも利用できる環境を整備しICT化の便利さを体現する

◇市執行部へ議会 ICT 化推進の協力要請

市議会 ICT 推進事業予算費 11,706 千円

《所 感》

視察研修では、研修内容の冊子を頂き市の担当職員が説明されるのだが、安城市では私達議員に 2 人で一台のタブレットが用意され、説明は議員の皆様が行うという、正にペーパーレス化の今までにない体験をさせてもらった。

タブレットを使いながらだったが 途中では私達の様子が facebook にアップされるというスピーディな部分にも驚かされた。

3 割の議員は使いこなしているが、2 割の議員は反発をしていたというお話を聞くと難しいなあと思うこともあった。

しかし、日本の議会全体がペーパーレス化に進む今、小野市議会としてもペーパーレス化に向うべきと考えているが、議員間での教えあいや情報の共有がとても大切になってくる。「議会の見える化」は ICT によって変わるということが大変勉強になった。

もちろん事務局の仕事量も減るようだ。



【第 2 日】

愛知県犬山市

人口 74,007 人 面積 74.90K㎡

《視察項目》

議会改革について（市民フリースピーチ制度等）



《視察内容》

犬山市議会～議会改革のあゆみ～ ①

平成 22 年 5 月～平成 23 年 3 月 議会改革推進委員会設置

＜主な取り組み＞

- 議会基本条例の制定（平成 23 年 10 月 1 日施行）
- 議会人事・組織の改革（議長任期 2 年・各種委員報酬の廃止）
- 情報公開・発信の促進
- 議員間討議の促進（全員協議会を協議の場に）
- 市民との意見交換、市民参加の場の設定

犬山市議会～議会改革のあゆみ～ ②

平成 29 年 7 月～平成 30 年 6 月 議会改革委員会設置（有志議員）

<主な取り組み>

- 議会基本条例の検証
- 申し合わせ事項の見直し
- 政務活動費などの検証

※日本の議会は受け身すぎて、十分機能していない。議会はもっと積極的になるべき。

☆権限を最大限に発揮できる議会に☆

・市民参加、議員間討議・議会の政策立案・政策提言

① 市民フリースピーチ（市民参加の取り組み）

定例会開催期間に、市民が議場で議員に対し、市政に関して「5分間」自由に発言ができる。市民からの意見は、全員協議会で議員間討議を行い、必要に応じて申し入れなどのアクションを取る。協議結果は文章やホームページで公開。

定員7名、行政側は入らない

○特徴

誰でも参加しやすい時間帯（例 夕方6時30分～・日曜朝10時～）

年齢制限なし（例 母子それぞれスピーチした場合もある）

完全な議会行事（議員は理事者側へ座って答弁する）

② 女性議会

行政と共催。公募で「いちにち女性議員」を募集。事前勉強会の後、模擬議会で一般質問を行い、（理事者側には女性の管理職（部長級でなくても）も座るようにしている。）その後一般質問での行政の答弁に対する疑問を「いちにち女性議員議員間討議」として意見交換、その結果を議長に申し入れる。

議長は申し入れ内容を全員協議会で討議、意見集約できたものを行政へ申し入れる。

③ オープンドアポリシー（オープン議長室）

誰でも気軽に議長室に来て、議長と相談しやすい日を設定

会議や公務の無い毎週水曜日の午後に開催中

市民との意見交換会

④ 市民との意見交換会

会場ごとにテーマを決めての意見交換。著名人の講演会も同時開催。交換会で出た意見は市議会だよりやホームページなどでフィードバックしている。

⑤ 親子議場見学会

小学生とその保護者（今年度は小学校低学年から）対象で、事前に委員会室で議会について説明後、議場見学、議場で議員に質問をする。（議員は理事者側席から答える）

⑥ その他

大学に赴きテーマを決めて学生議会。各種団体と常任委員会との意見交換会



☆議員間討議促進の取組

定例会会期中に全員協議会開催。委員会での討議の場を設置。
全員協議会の議員間討議。議員間討議から申し入れ。議員間討議から
政策立案・政策提言。

《所 感》

こちらもやはり対応くださったのは、三浦知里 議会運営委員長と1期目の議会運営委員のお二人。三浦委員長がてきぱきと采配をふるわれ、型にはまらず意見交換のような雰囲気での気持ちの良い研修だった。

昨年、宇都宮で開催された「全国市議会議長フォーラム」でパネリストをされた犬山市議会議長（当時）の「ビアンキ アンソニー」議員の議会改革についての話を聞き興味津々だったが、改めて犬山市に来させて頂く事ができ自分としてもとても嬉しく、参考にさせて頂きたいことばかりだった。

特に月に2回から3回開くという全員協議会には興味を持った。会派の中でも少しずつ意見が異なるので、全員の意見を聞く事はとても大切な事だと感じた。また、今小野市で行っている本会議休憩中に傍聴者からご意見をお聞きする懇談会も市民の声を聞くものであり、その延長が市民フリースピーチになるのではと期待もかけている。

今回、議会運営委員会で研修した内容は2市議会とも素晴らしく、小野市議会議員全員で受けたいと思うくらいだった。

令和 1年 10月 18日

小野市議会議長

川名 善三 様

議会運営委員会

岡 嶋 正 昭 ⑩

委員会行政視察報告書

先般、実施しました 議会運営委員会 行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 令和 1年 10月 3日（木）～令和 1年 10月 4日（金）

2 視察メンバー

前田光教委員長、山本悟朗副委員長、村本洋子議員、高坂純子議員、久後淳司副議長、川名善三議長、岡嶋正昭 以上7名

3 視察先及び調査内容

(1) 愛知県安城市（人口：約 18万9千人、面積： 86.05K㎡）

安城市役所：愛知県安城市桜町 18-23

視察項目

議会 ICT 化推進事業について

(2) 愛知県犬山市（人口：約 7万4千人、面積： 74.90K㎡）

犬山市役所：愛知県犬山市大字犬山字東畑 36

視察項目

議会改革について（市民フリースピーチ制度等）

4 調査結果

【第1日】

愛知県安城市

人口 189,331人 面積 86.05Km²

≪視察項目≫

議会 ICT 化推進事業について

≪視察内容≫

安城市議会・議会改革のあゆみ！

- ・平成19年度 一般質問の一問一答方式を導入
- ・平成20年度 代表質問、一般質問のインターネット録画放映の開始
- ・平成21年度 議会改革検討委員会にて議員定数削減の議論がなされたが、次期選挙では現在の議員定数が適正であるとの結論となった。
- ・平成22年度 安城市議会における市民アンケートを実施、アンケート結果を公開
アンケート結果に基づき議会の見えるかと議会改革を進めることを確認

アンケートの結果、議会の見えるかが必要！

- ・平成24年度 各会派にノート PC を配布(3人に1台程度)
- ・平成26年度 議会 ICT 化の議論が議会改革検討委員会で始まる
安城市議会基本条例・安城市議会議員倫理条例を制定
- ・平成27年度 議員定数を30名から28名へ2名の削減で選挙を実施
全議員協議会より、タブレット端末を導入
- ・平成28年度 スマートフォン、タブレット端末への議会録画映像の配信
議会のペーパーレス化を進める
議場、委員会等のWi-Fi化を実施。インターネットライブ中継の実施

iPadPro を採用した理由 ⇒ 平成28年度使用開始

費用対効果：年額にして222万円削減

全議員が一斉にタブレットを活用するため機種は統一した方が操作教育しやすい。
(システム構成、導入機器、費用などの検討)

・公費：2,500円、政務活動費：2,000円 私費：負担なし(執行部の反対)

データ定額 3年3ヶ月のレンタルプラン

データ定額パック(7GB)インターネット接続基本料他で約4,500円(月額)

システム構成、導入機器、費用などの検討

導入費用 グループウェア・議場 Wi-Fi 等で約 4,600,000 円
ランニングコスト 同上 約 3,300,000 円が必要。

ICT 利用規約などのルール化

タブレット端末を持ち出して議員活動を行うことが前提

必要最小限の約束事を取り決め

標準のソフトはグループウェアとペーパーレス会議システム

議員活動とは無関係な用途に用いることは禁止

市民への説明は自己責任

⇒ 安城市議会の情報通信機器使用基準を策定

議会 ICT 化推進における考察

- ・議員主導での ICT 推進
- ・ペーパーレス会議だけにフォーカスせずに ICT 化のメリットを全体的に検討する
- ・無理に紙資料を電子化データに完全移行しない！
- ・タブレットを議場以外の議員活動でも利用できる環境を整備し ICT 化の便利さを体現する

〈所 感〉

安城市議会の ICT 化への取組についての視察を実施し、活用状況が確認することができました。安城市では平成 24 年度に会派へノートパソコンの配布があり、ICT 化へのスタートであったのかと思われます。現在では殆どの議員さんがタブレット端末を活用し議員活動に取り組まれているようです。また、定期的にもこれらの活用についての研修会も実施され意識の向上に努められている。視察時においても年配議員の活用例も伺い便利であることを確認できました。

また、多くの視察(平成 28 年度 34 市・平成 29 年度 27 市)を受け入れ、広報にも努められています。

小野市議会では議員各自にパソコンが配布され、日々の情報、各種書類等の提供も行われており、これらを活用しながらの日々議員活動に生かされているところです。

今後については、これらツールの活用も考慮に入れながら更なる飛躍を求めての議会活動・議員活動へと取り組んでいくことも重要かと感じた視察でありました。

【第2日】

愛知県犬山市

人口 74,007人 面積 74.90Km²

《視察項目》

議会改革について（市民フリースピーチ制等）

《視察内容》

犬山市議会 ～議会改革のあゆみ～

平成22年5月～

議会基本条例の制定(平成23年10月1日施行)

平成29年7月～1年間 議会改革委員会を設置

議会基本条例の検証

申し合わせ事項の見直し

政務活動費などの検証

議会改革は新たなステージへ

議会人事・組織の改革(議長任期2年・各種委員報酬の廃止など)

情報公開・情報発信の促進

議員間討議の促進(全員協議会を協議の場に)

議員同士で議論しないと議会としての物事を決められない。

市民との意見交換、市民参加の場の設定

市民のフリースピーチ・女性議会・オープンドアポリシー・意見交換会等

↓

各課題に対して「議員間での討議」 ⇒ 全員協議会

↓

意見集約など「議会として提言」 ⇒ 決議・付帯決議・申し入れなど

○フリースピーチ《市民の取り組み》

目的

- ・市民の直接参加により、市政への関心を高める
- ・議会や議場に親しむ
- ・議会活動を、市政に市民の意見をより反映させるものである。

内容

- ・定例会開催機会に、市民が議場で議員に対し、市政に関して「5分間」自由に発言できる。

- ・市民からの意見は、全員協議会で議員間討議を行い、必要に応じて申し入れなどのアクションをとる。
- ・協議結果は文書やホームページで公開。

参加状況

平成30年度 定員7名に対し、1回目7名、2回目6名、3回目7名、4回目6名
(傍聴者も45名、37名、45名、61名)

○ 女性議会

平成30年2月14日 10名が参加

成果の一つとして

⇒周知や説明不足により、受け手である市民に情報が正しく伝わっていない案件が複数あった為、今以上に市民目線に立った情報伝達に努めてほしいとの意見。

○ オープンドアポリシー

誰でも気軽に議長室に来て、議長と相談しやすい日を設定。

《会議・公務のない毎週水曜日の午後に開催中》

○ その他

市民との意見交換会・親子議場見学会・各種団体と常任委員会の意見交換会の実施
学生議会。

犬山市議会の取り組み(効果)

小さなことでも議会が成果を出し続けること

⇒市民に「参加すれば、実現できる。」という気持ちが芽生え、「市民参加」が活発になる

⇒市民意識が高くなり、

選挙の投票率低下、議員のなり手不足などの問題の解決の糸口にもつながる。

犬山市議会の取り組み(今後の課題)

市民参加の議会行事へ

参加者を増やす

幅広い世代、特に若い世代に参加してもらう

《所 感》

犬山市議会の取り組みは、まずは市民の意見の聴取にあります。

取り組みとしては、市民のフリースピーチ・女性議会・オープンドアポリシー・市民との意見交換会・親子議場見学会等々です。これらにより取り上げられた意見等を全員協議会においてそれぞれ協議され、議会活動に生かそうとする取り組みでした。これらの取り組みには犬山市の市民一人ひとりの意識の高さにあるのかとも感じた次第です。

ただ、議会としての意見聴取されたものについて理事者側との協議においての意識レベルの差が気になることところです。これには理事者側とも十分に協議がなされているものと推測されますので特に支障が表れていないものと思われま。

小野市議会においては、多くの市民の皆様の意見の聴取に尽力すべきところが今後の課題と感じたところ。

令和 元年 10 月 8 日

小野市議会議長 川名 善三 様

議会運営委員会
久後 淳司

㊞

委員会行政視察報告書

先般、実施しました 議会運営委員会 行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 令和 元年 10 月 3 日 (木) ～令和 元年 10 月 4 日 (金)

2 視察メンバー

- ・前田 光教・岡嶋 正昭・高坂 純子・山本 悟朗
- ・川名 善三・村本 洋子・久後 淳司

3 視察先及び調査内容

(1) 愛知県安城市 (人口：約 18 万 9 千人、面積：86.05 Km²)

議会 ICT 化推進事業について

(2) 愛知県犬山市 (人口：約 7 万 4 千人、面積：74.90 Km²)

議会改革について (市民フリースピーチ制度等)

4 調査結果

【第 1 日】

愛知県安城市

人口：約 18 万 9 千人、面積：86.05 Km²

≪視察項目≫

議会 ICT 化推進事業について

≪視察内容≫

【背景】

・市民アンケートの実施

- ① 「市議会は市民に対して開かれているか」 ⇒開かれているはたった15%
- ② 「その理由は」 ⇒意見が反映されない、活動が見えない、接点がない・・・等
結論として ➡ 議会の見える化が必要

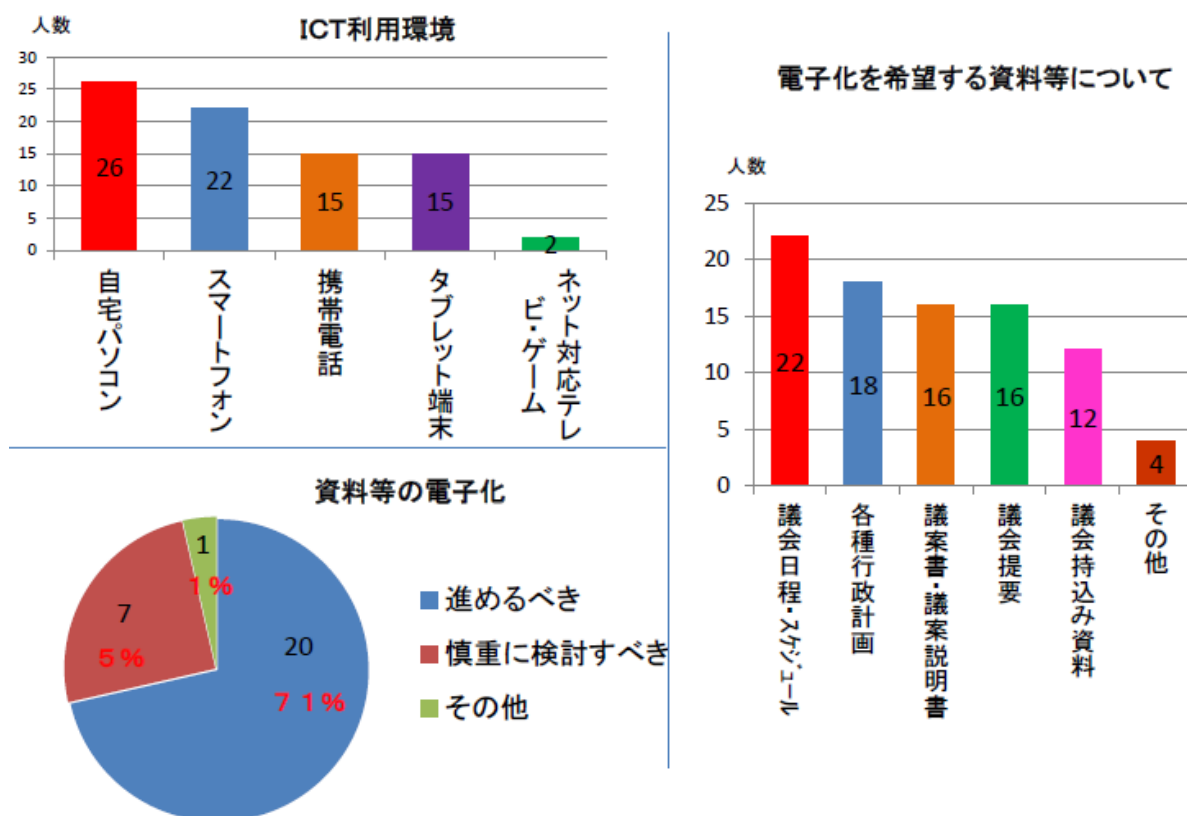
【プロジェクトチーム】

・メンバー 6名（座長1名、副座長1名）

16人会派 →2名選出、 3人会派 →1名選出×3会派、 諸派(3人)→1名選出

・計15回の会議を開催

ICT化に対する議員の意識調査



【検討事項】

<議会ICT化の目的>

① 議会運営の効率化・迅速化

・ペーパーレスの推進

・コピー、製本、差し替えなど事務作業の軽減、業務スピードの向上

② 議会の見える化・魅せる化

・議会のライブ中継、SNS（facebook, twitter）の活用など議会情報の積極的公開

- ・議場のICT化など分かり易い議会運営および議会の魅せる化
- ・大型スクリーン導入、説明資料および持ち込み資料の電子化
- ③ 危機管理体制の強化
 - ・災害情報の共有化および情報伝達の迅速化
 - ・議会BCP整備
- ④ 議会の活性化、議員の資質向上
 - ・情報伝達の迅速化、議会スケジュールおよび情報共有による事務作業の確実性の向上、エビデンス性の確保
 - ・情報ソースの拡大、市民への迅速な情報開示

<主な効果>

- ① 定量効果
 - ・業務プロセス改革による事務作業の効率化・迅速化
特に人件費、ペーパーレス（紙の削減）、事務スピード改善
 - ・市民からの相談、陳情・請願件数
- ② 定性効果
 - ・市民からの議会運営の満足度、信頼度、議員活動のしやすさ

＝ 主なICT推進PTの実施・検討事項 ＝

- ① 現状調査 ICT化に対する議員の意識調査
- ② ICTベンダーへのヒアリング、近年のICTトレンド調査
- ③ 市執行部との意見交換、推進体制の検討
議会ICT化の目指す姿と実施事項・計画の明確化！
- ④ システム構成、導入機器、費用の検討（ICTが苦手な議員でも使える環境）
（グループウェア、ビューワー・電子会議システム、タブレット端末など）
- ⑤ 利用規約、費用負担など議会のルールを作成
議員の操作およびリテラシー教育（全議員の足並みを揃え丁寧なICT化推進）

【基本計画の策定】

基本的な考え方

Active：効率化・活性化など議会改革を積極的に推進する

Next：ICTを積極的に活用した次代の議会運営を行う

Join：市民と繋がる（議会への市民参加と関心の向上を図る）

Open：議会情報を分かり易く市民に公開する

【システム構成・導入】

- ・全議員が一斉にタブレットを活用するため機種は統一した方が操作教育しやすい
- ・操作が簡単で操作の標準化がしやすいiPad（iOS）を選択（簡単に操作できる）
- ・画面サイズはA4資料がそのままのイメージで参照できる12.9インチを採用
- ・12.9インチならば予算書などの見開きページの資料も参照できる

| 月額費用（見積り） | |
|-------------------------|---------|
| インターネット接続基本料 | 300円 |
| データ定額パック（7GB） | 3,000円 |
| 端末レンタル料（128GB） | 3,580円 |
| ユニバーサルサービス料 | 2円 |
| 保守パック | 300円 |
| レンタル割引額（128GB） | -3,020円 |
| 合計 4,162円 ⇒ 約4,500円（税込） | |

【負担額】 公費：2,500円、政務活動費：2,000円、私費：負担なし

【導入費用】

| 項目 | 導入費用 | ランニングコスト |
|-----------|------------|---------------|
| グループウェア | 285,000円 | 183,000円/年 |
| 会議システム | 173,000円 | 972,000円/年 |
| タブレット利用料 | レンタル | 1,780,000円/年 |
| 議場Wi-Fi整備 | 3,100,000円 | 16,200円/月 |
| 本会議ライブ中継 | 729,000円 | 182,000円/年 増額 |
| ほかネット回線料金 | 212,000円 | 9,200円/月 増額 |
| その他備品等 | 100,000円 | |

【ルール】

タブレット端末を持ち出して議員活動を行うことが前提

- ・議会・庁舎内だけでなく行政調査、普段の議員活動で利用する
- ・常に携帯することによってリテラシーの向上を図る

必要最低限の約束事を取り決める

- ・標準のソフトはグループウェアとペーパーレス会議システム
- ・端末の初期設定は行うが必要なソフトウェアは各自で判断してインストールを行う
- ・議員活動とは無関係な用途に用いることは禁止（議会中に録音、録画、音を出す、外部とのやり取りは禁止）

市民への説明は自己責任

【課題】

① ペーパーレス会議システムの使い勝手の向上

- ・手書き入力などの改善（遅い、各種入力補助ツールの採用）
- ・編集画面と閲覧画面の切り替えの簡易化（議案の説明が早いと追いつかない）

② 利便性とペーパーレス化のバランスの追及

- ・あくまでも議会の効率化、迅速化、議員活動の充実が狙い！ペーパーレス化自体が目的ではない。
- ・予算書、決算書取り扱いの方向性、平成28年度は全議員に製本して配付
⇒現在は希望者だけに配付しているが、予算書決算書はほとんどの議員がペーパーを併用している

⑥ 定期的なフォローアップ講習の実施

- ・タブレットの基本操作、便利な機能紹介や議員活動に役立つソフト紹介など

【考察・検証】

- ・議員主導でのICT推進！（若手議員による推進とベテラン議員の理解）
- ・ICTが苦手な議員をターゲットにした推進体制
- ・ペーパーレス会議だけにフォーカスせずにICT化のメリットを全体的に検討する
- ・無理に紙資料を電子化データに完全移行しない！
- ・議会毎に議員主体で操作講習会を実施し全議員のスキルを底上げする（議員同士で教え合う風土）
- ・タブレットを議場以外の議員活動でも利用できる環境を整備してICT化の便利さを体現する

《所 感》

実際にタブレットを使用しシステムに触れることが出来ましたが、該当ページに即座にジャンプするなど非常に使いやすく便利でした。議会のICT化は全議員の方向性が一致しないと難しいなというのが第一印象でしたが、幸い安城市議会では、明確な反対があるわけではなかったので順調に進捗していくことが出来たそうです。説明時に繰り返し述べられてい

たのですが、議会のICT化というのは、単にペーパーレス化をするためではなく、タブレットを活用することで、同じツールで同じ情報発信を用いることで、議員ごとにバラつきが出るのではなく、市民の皆様にとって説得力がある伝え方ができるとおっしゃっていました。この部分はとても大切なポイントに感じました。そして最終的にはICT化によって市民とつながることを目的にされており、小野市においても同様の姿勢は大切だと考えます。まだまだ紙ベース主体でありますし、時間とコスト面をしっかりと見定めた上で、タブレット導入や電子採決、あるいはペーパーレスやオンライン決裁等、これからの議会ICT化に向けて、具体的な取組を検討する時期に来ていると考えます。

【第2日】

愛知県犬山市

人口：約7万4千人、面積：74.90Km²

≪視察項目≫

議会改革（市民フリースピーチ制度）について

≪視察内容≫

【議会改革のあゆみ】

平成22年5月～平成23年3月

有志13名、正副議長、オブザーバー1名による15名で、議会改革推進委員会を設置

- ・議会基本条例の制定（平成23年10月1日施行）
- ・議会人事・組織の改革（議長任期2年・各種委員報酬の廃止など）
- ・情報公開の促進
- ・情報発信の促進
- ・議員間討議の促進（全員協議会を協議の場に）
- ・市民との意見交換、市民参加の場の設定

平成29年7月～平成30年6月

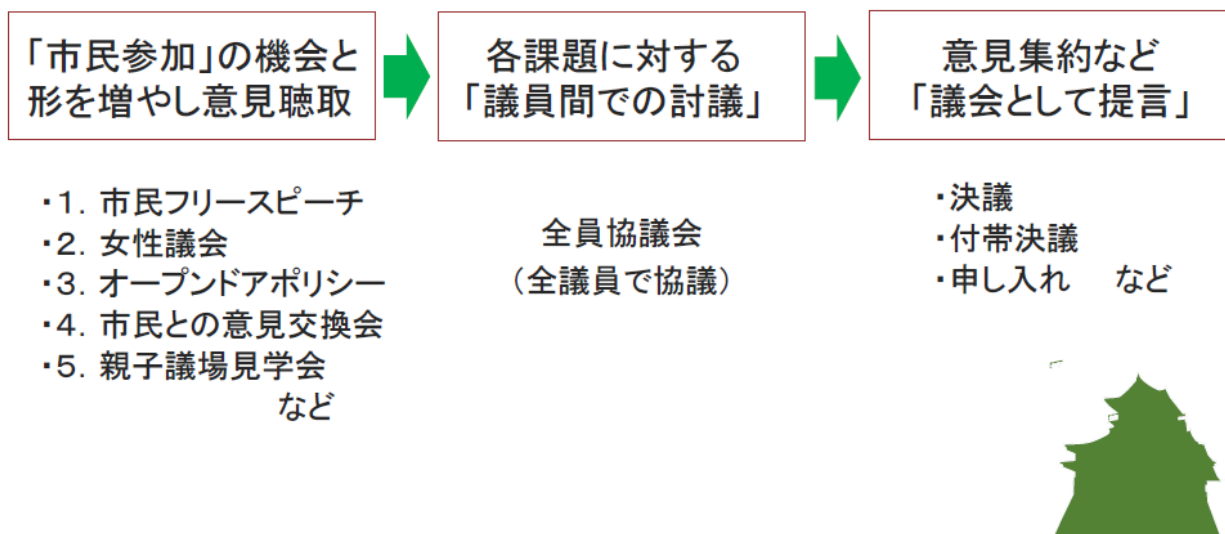
有志による議会改革委員会を設置

- ・議会基本条例の検証
- ・申し合わせ事項の見直し
- ・政務活動費などの検証

【権限を最大限発揮できる議会づくり】

- ① 市民参加（市民のニーズや希望を反映できるように、意見を吸い上げる場を増やす必要がある）
- ② 議員間討議（議員同士で議論しないと議会として物事を決められない）
- ③ 議会の政策立案・政策提言力の向上（議員間討議は提案につながらないと、ただのトークショー）

犬山市議会の取り組み（プロセス）



【市民フリースピーチ】

<目的>

- ・市民の直接参加により、市政への関心を高める・議会や議場に親しむ
- ・議会活動を、より市政に市民の意見を反映させるものにする

<内容>

- ・定例会開催期間に、市民が議場で議員に対し、市政に関して「5分間」自由に発言ができる。
- ・市民からの意見は、全員協議会で議員間討議を行い、申し入れなどのアクションをとる
- ・協議結果は文書やホームページで公開

<参加状況>

平成30年度実施（発言者⇒定員7名）

第1回：7名（先着順）⇒傍聴者37名

第2回：6名（抽選）⇒傍聴者45名

第3回：7名（定数）⇒傍聴者45名

第4回：6名（夜間開催）⇒傍聴者61名

<特徴>

- ・完全な議会の行事
- ・誰でも参加しやすい時間帯
- ・年齢制限なし
- ・議場で議員から発言に対する質疑をしてもよい

<成果の一例>

1. 市民フリースピーチ④ (成果の一つとして)

○障がい者の災害時の支援について
(議会からの申し入れ)

➡避難行動要支援者支援制度の名簿掲載に係る条件の見直しを検討し、障がい者が避難しやすい支援体制を構築して欲しい。



○行政からの回答

➡条件を緩和し運用する。
(地域支援者を2名から見直し1名でも登録可能として運用する。)



【その他の主な取組】

① 女性議会

- ・平成30年2月14日に開催、行政と共催
- ・公募で「いちにち女性議員」を募集、10名が参加
- ・事前勉強会の後、模擬議会で一般質問を行い、その後一般質問での行政の答弁に対する疑問を「いちにち女性議員 議員間討議」として意見交換、その結果を議長に申し入れ
- ・議長は「いちにち女性議員」の申し入れ内容を全員協議会で討議、意見集約できたものを行政に申し入れ

② オープンドアポリシー

- ・誰でも気軽に議長室に来て、議長と相談しやすい日を設定。日を設定することで、相談しやすくなるようにしている

③ 市民との意見交換会

⇒毎年開催、その年ごとに様々な取り組みを行っている

- ・会場ごとにテーマを決めての意見交換
- ・著名人の講演会も同時開催
- ・委員会ごとや、市民との距離が近い場所での開催

④ 親子議場見学会

- ・小学校にチラシを配布し募集
- ・校長会で周知
- ・1グループ90分
- ・夏休みの自由研究になる

- ・子ども⇒議員席、議員⇒理事者側席
- ・議場で議員に質問
- ・子どもと若い世代の親が来てくれる
- ・親子で議会に関心を持ってもらえる
- ・質問コーナーであまり接点のない世代からの声を聴ける

【議員間討議の促進・活用】

- ・定例会会期中に全員協議会を開催
- ・委員会での討議の場を設置
- ・委員会の議員間討議を導入したことにより、付帯決議、委員長報告等で意思表示、政策提言する機会がはるかに多くなった
- ・議員間討議を行うことで、市議会からの提案がより活発になる

【取組の効果】

- ・小さなことでも議会が成果を出し続けることが大切

【今後の課題】

- ・参加者を増やすこと
- ・幅広い世代の参加（特に若い世代の参加）

〈所 感〉

犬山市議会の特徴は、「チーム市議会」としての団結力の高さが際立っている印象を受けました。全議員により全員協議会を少なくとも月1回以上開催し、議案や一般質問の内容、フリースピーチで出た質問に対する回答方法の担当決めや割り振りなど、ベテラン議員も新人議員も意見を言い合い、良い循環の中で議会運営を進めているように感じました。小野市においても、市民の皆様からのご意見やご要望を受けた際に、積極的な議員間討議や協議を行うことで、政策立案や政策の提言ができるように進めていくことが大切だと考えます。そして若い世代に小野市の政治に関心を持ってもらえるような活動も必要だと感じました。そのための議会運営活動も積極的に進めていければと思います。

令和元年10月18日

小野市議会議長 様

議会運営委員会
川名善三 印

行政視察報告書

先般、実施しました議会運営委員会行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 令和元年10月3日（木）～10月4日（金）

2 視察メンバー

・前田光教・山本悟朗・岡嶋正昭・高坂純子・久後淳司・村本洋子・川名善三

3 視察先及び調査内容

(1) 愛知県安城市（人口：約18万9千人、面積：86.05Km²）
議会ICT化推進事業について

(2) 愛知県犬山市（人口：約7万4千人、面積：74.90Km²）
議会改革について（市民フリースピーチ制度等）

4 調査結果

【第1日】

愛知県安城市

人口：約18万9千人、面積：86.05Km²

《視察項目》

議会ICT化推進事業について

《視察内容》

(1) 議会ICT化推進事業の取り組みへの経過
【平成23年度】



6月 議会基本条例策定特別委員会及び議会の見える化として議会だより編集委員会の立ち上げ、議員の編集による議会だよりを発行

9月 各常任委員会で分科会を設置し分割付託12月議会改革検討議会を設置

【平成26年度】

6月 議会ICT化の議論が議会改革検討委員会で始まる。

12月 安城市議会基本条例、安城市議会議員倫理条例を制定
安城市さわやマナーまちづくり条例を制定（議員提案による初の本格的政策条例を制定）

【平成27年】

4月 議員定数を30名から28名へ2名削減で選挙を実施

5月 FAXを廃止し電子メールに移行

6月 議会ICT推進プロジェクトチームを立ち上げ、安城市議会のICT化について議論を開始

2月 全議員協議会より、タブレット端末を導入

【平成28年度】

4月 スマートフォン、タブレット端末への議会録画映像の配信

5月 議会のペーパーレス化を進める。

8月 議場、委員会室等のWi-Fi化を実施

9月 インターネットライブ中継の実施

(2) 議会ICT化の目的

① 議会運営の効率化・迅速化

・ペーパーレスの推進・コピー、製本、差し替えなど事務作業の軽減、業務スピードの向上

② 議会の見える化・魅せる化

・議会のライブ中継、SNS（facebook, twitter）の活用など議会情報の積極的公開
・議場のICT化など分かり易い議会運営および議会の魅せる化
・大型スクリーン導入、説明資料および持ち込み資料の電子化

③ 危機管理体制の強化

・災害情報の共有化および情報伝達の迅速化
・議会BCP整備

④ 議会の活性化、議員の資質向上

・情報伝達の迅速化、議会スケジュールおよび情報共有による事務作業の確実性の向上、エビデンス性の確保
・情報ソースの拡大、市民への迅速な情報開示

(3) 議会ICT化推進による主な効果について

① 定量効果

・業務プロセス改革による事務作業の効率化・迅速化 特に人件費 ペーパーレス化（紙の削減）事務スピード改善

- ・市民からの相談、陳情・請願件数

② 定性効果

- ・市民からの議会運営の満足度、信頼度、議員活動のしやすさ
- ・市民と繋がる環境づくり、議会・議員の見える化、活性化の促進

(4) システム構成、導入機器、費用等

① iPad Proの導入費用・形態等

- ・公費：2,500円、政務活動費：2,000円
私費：負担なし

- ・契約形態はレンタル（買取の場合、市の資産とな

り市のセキュリティーポリシーに準拠する必要がある。また庁舎外に持ち出しができない。）

- ・故障、修理は無償で対応
- ・紛失は2回/年までは無償で対応



| 月額費用（データ定額 3年3ヶ月のレンタルプラン見積り） | |
|------------------------------|---------|
| インターネット接続基本料 | 300円 |
| データ定額パック（7GB） | 3,000円 |
| 端末レンタル料（128GB） | 3,580円 |
| ユニバーサルサービス料 | 2円 |
| 保守パック | 300円 |
| レンタル割引額（128GB） | -3,020円 |
| 合計 | 4,162円 |

②利用環境の整備

| 項目 | 導入費用 | ランニングコスト |
|-----------|------------|---------------|
| グループウェア | 285,000円 | 183,000円/年 |
| 会議システム | 173,000円 | 972,000円/年 |
| タブレット利用料 | - | 1,780,000円/年 |
| 議場Wi-Fi整備 | 3,100,000円 | 16,200円/月 |
| 本会議ライブ中継 | 729,000円 | 182,000円/年 増額 |
| ほかネット回線料金 | 212,000円 | 9,200円/月 増額 |
| その他備品等 | 100,000円 | |

(5) ICT利用規約などのルール化（情報通信機器使用基準の策定）

①タブレット端末を持ち出して議員活動を行うことが前提

- ・議会・庁舎内だけでなく行政調査、普段の議員活動で利用する。
- ・常に携帯することによってリテラシーの向上を図る 必要最低限の約束事を取り決め ・標準のソフトはグループウ



【Wi-Fi アンテナ】

エアとペーパーレス会議システム

- ・端末の初期設定は行うが必要なソフトウェアは各自で判断してインストールを行う
- ・議員活動とは無関係な用途に用いることは禁止（議会中に録音、録画、音を出す、外部とのやり取りは禁止）
- ・市民への説明は自己責任

(6) 今後の課題と対応について

①ペーパーレス会議システムの使い勝手の向上

- ・手書き入力などの改善（遅い、各種入力補助ツールの採用）
- ・編集画面と閲覧画面の切り替えの簡易化（議案の説明が早いと追いつかない）

②利便性とペーパーレス化のバランスの追及

- ・あくまでも議会の効率化、迅速化、議員活動の充実が狙いでありペーパーレス化自体が目的ではない。
- ・予算書、決算書取り扱いの方向性。平成28年度は全議員に製本して配布

③定期的なフォローアップ講習の実施

- ・タブレットの基本操作、便利な機能紹介や議員活動に役立つソフト紹介など

(7) 議会ICT化推進における考え方

- ・議員主導でのICT推進（若手議員による推とベテラン議員の理解）
- ・ICTが苦手な議員をターゲットにした推進制
- ・ペーパーレス会議だけにフォーカスせずICT化のメリットを全体的に検討する。
- ・無理に紙資料を電子化データに完全移行しない。
- ・議会毎に議員主体で操作講習会を実施し全議員のスキルを底上げする（議員同士で教え合う風土）
- ・タブレットを議場以外の議員活動でも利用できる環境を整備してICT化の便利さを体現する。



〈所 感〉

近年、議会でのICT化の流れが強くなってきているが、議員へタブレットを配付し、活用することにより、会議の円滑化やペーパーレス化などのメリットの他に、議員活動においても、その活用による「見える化」が図られ、「開かれた議会」へのツールとして期待されている。多くの議会では、その利用範囲を制限しているが、安城市議会では、タブレットの利用を、常時ネット接続を行い、庁舎内に限らず、どこにおいても幅広い利用が認められているとともに、すべてペーパーレス化を目指すのではなく、個人の希望やスキルに合わせた柔軟な対応も取られおり、議員へのタブレット活用の浸透が進んでいる。

【第2日】

愛知県犬山市

人口：約7万4千人、面積：74.90Km²



《視察項目》

議会改革（市民フリースピーチ制度）について

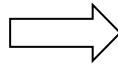
《視察内容》

（1）議会改革の取組について

平成29年7月～平成30年6月 議会改革委員会を設置

【主な取り組み】

- ・議会基本条例の検証
- ・申し合わせ事項の見直し
- ・政務活動費などの検証



権限を最大限発揮できる議会

- ・市民参加
- ・議員間討議
- ・議会の政策立案・政策提言力の向上

（2）市民フリースピーチ制度について

【概要】

2017年5月に議長に就任したビアンキ・アンソニー氏が、アメリカの議会では「普通に行われていること」ということで導入。この制度は、あらかじめ申し込んだ市民が議場の演台から、全議員に向かって犬山市政に関することを発言できる。市内在住・在勤・在学者が参加でき、市民の意見については議会がその後の全員協議会などで議論される。

| | |
|--------------|---|
| 実施回数 | 1回（会期内） |
| 実施場所 | 議場 |
| 発言参加者 | 犬山市内に在住・在学・在勤のいずれかに該当する方 |
| 発言内容 | 犬山市政に関すること（国、県、他市町村等犬山市政に関係のないことは発言できない。） |
| 発言時間 発言者数 | 1人5分以内 7名（抽選により決定。ただし、発言内容により許可できない場合がある。） |
| 発言への対応 | 質疑応答はなし。議員が発言内容を確認することがある。 |
| その他 | 報道機関に対して、発言の撮影を許可する場合がある。発言の記録は作成しない。 |

【目的】

- ・市民の直接参加により、市政への関心を高める。
- ・議会や議場に親しむ。
- ・議会活動を市政に市民の意見をより反映させるものにする。

【参加状況（平成30年度）】

- ・第1回 7名
- ・第2回 6名
- ・第3回 7名
- ・第4回 6名

【成果例】

◆障がい者の災害時の支援について

- ➡避難行動要支援者制度の名簿掲載に係る条件の見直しを検討し、障がい者が避難しやすい支援体制を構築して欲しい。



○行政からの回答

- ➡条件を緩和し運用する。（地域支援者を2名から見直し、1名でも登録可能として運用する。）

(3) 特徴的な取組について

○「市民参加」の機会と形を増やし意見聴取

- ① 市民フリースピーチ
- ② 女性会議
- ③ オープンドアポリシー
- ④ 市民との意見交換会
- ⑤ 親子議場見学会 など

○各課題に対する「議員間での討議」

- ・全議員協議会

○意見集約など「議会として提言」

- ・決議
- ・付帯決議
- ・申し入れ など



《所 感》

犬山市では、平成23年の議会基本条例以降、議会改革の象徴として「一問一答方式」、「議会報告会の開催」などの取り組みが行われていたが、平成29年に改めて議会改革委員会を設置、さらなる市民参加の促進を目指した取り組みの一つとして、「市民フリースピーチ制度」をスタートさせてのものである。この場で出され市民からの意見を、議員間討議を経て政策提言につなげるこの制度は、議会での新たな広報公聴活動における直接的でよりわかりやすい方法として、今後の効果を期待したい。